

1. 人口等

## 1-1. 人口

(1) 人口密度<sup>\*1</sup>

令和2年の人口は211,444人、人口密度は209.81人/haである。

平成22年から27年までに22,145人(12.6%)、平成27年から令和2年までに13,371人(6.8%)が増加しており、人口増加が続いている。

町丁目別にみると、人口密度の高い町丁目は、根岸・入谷地域に多くみられる。人口密度の増減をみると、平成22年から27年にかけては、西浅草三丁目、浅草橋四丁目、池之端二丁目の順に増加している。平成27年から令和2年にかけては、池之端一丁目、寿二丁目、蔵前四丁目の順に増加している。

表1-1 人口密度(資料：国勢調査 平成22・27・令和2年)

	人口	増減率	人口密度(人/ha)
平成22年	175,928	-	174.52
平成27年	198,073	12.6%	196.48
令和2年	211,444	6.8%	209.81

<sup>\*1</sup> 指標の定義1.人口・世帯関連指標参照

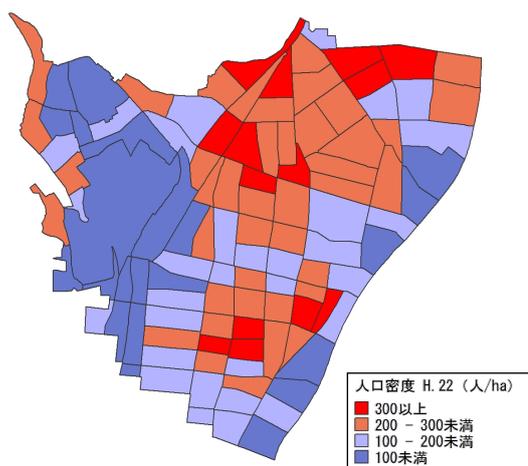


図1-1 人口密度 平成22年  
(資料：国勢調査 平成22年)

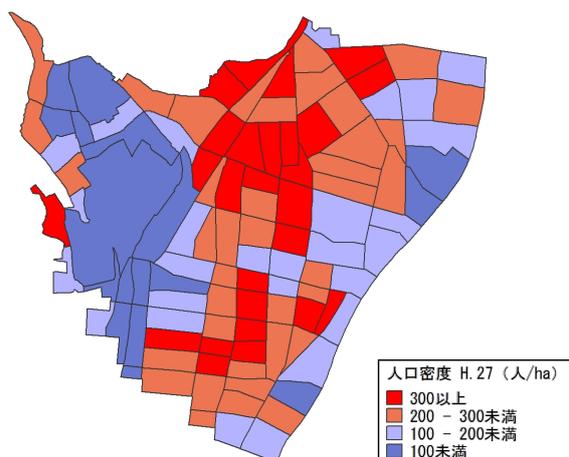


図1-2 人口密度 平成27年  
(資料：国勢調査 平成27年)

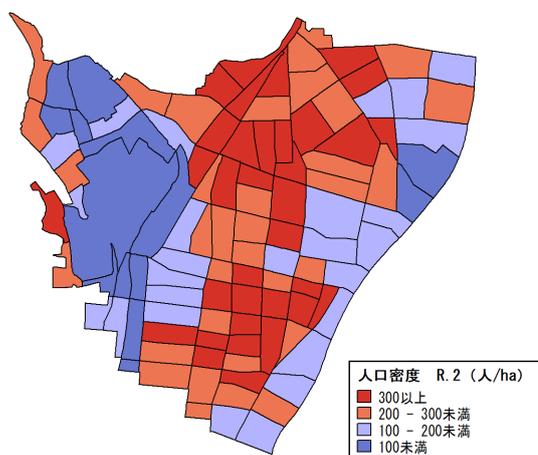


図1-3 人口密度 令和2年  
(資料：国勢調査 令和2年)

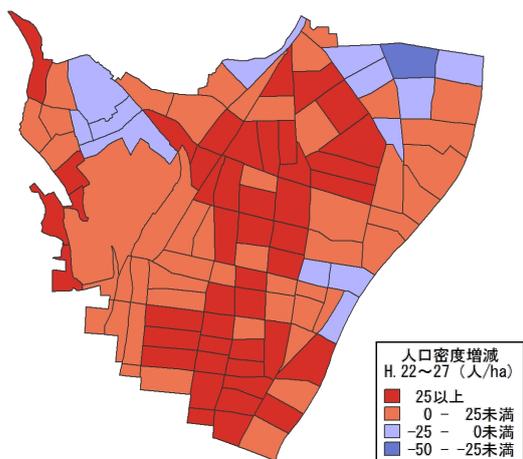


図1-4 人口密度増減 平成22～27年  
(資料：国勢調査 平成22・27年)

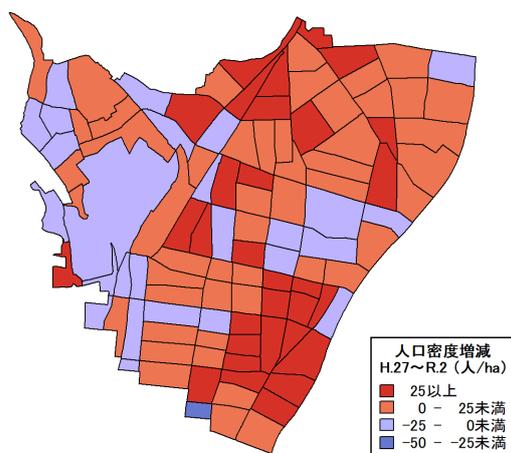


図1-5 人口密度増減 平成27～令和2年  
(資料：国勢調査 平成27・令和2年)

## 1. 人口等

### (2) 世帯数密度 <sup>\*2</sup>

令和2年の世帯数は124,345世帯である。平成22年から27年までに13,889世帯(14.6%)、平成27年から令和2年までに15,043世帯(13.8%)が増加しており、世帯数増加が続いている。

町丁目別にみると、世帯数密度の高い町丁目は、根岸・入谷地域から浅草・中部地域、南部地域にかけて多くみられる。

増減をみると、ほぼ区全域で増加が続いている。平成22年から27年にかけては、大きく減少していた清川二丁目、日本堤一丁目、日本堤二丁目については、平成27年から令和2年にかけて増加に転じている。浅草一丁目、浅草二丁目、西浅草二丁目は減少に転じている。

表1-2 世帯数密度(資料：国勢調査 平成22・27・令和2年)

	世帯数	増減率	世帯数密度 (世帯/ha)	平均世帯人数 (人/世帯)
平成22年	95,413	-	94.65	1.8
平成27年	109,302	14.6%	108.42	1.8
令和2年	124,345	13.8%	123.38	1.7

<sup>\*2</sup> 指標の定義1.人口・世帯関連指標参照。

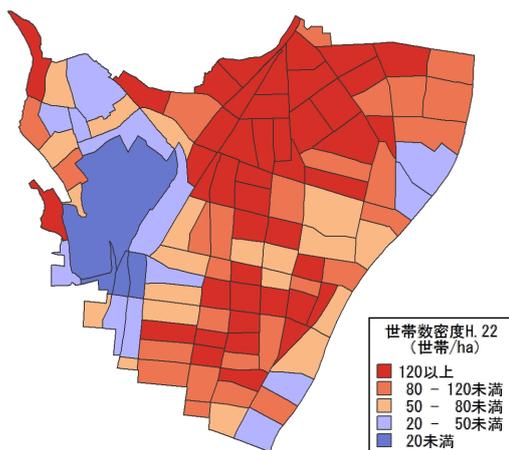


图1-6 世帯数密度 平成22年  
(資料：国勢調査 平成22年)

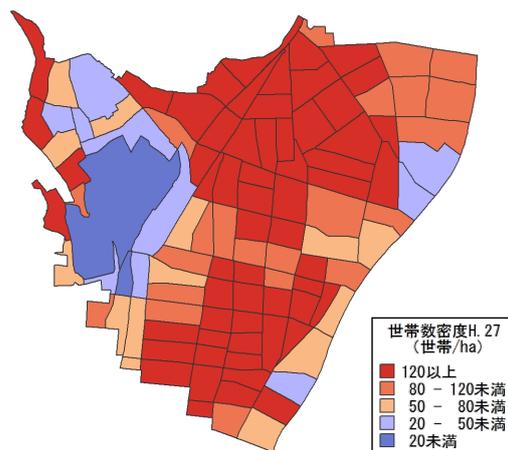


图1-7 世帯数密度 平成27年  
(資料：国勢調査 平成27年)

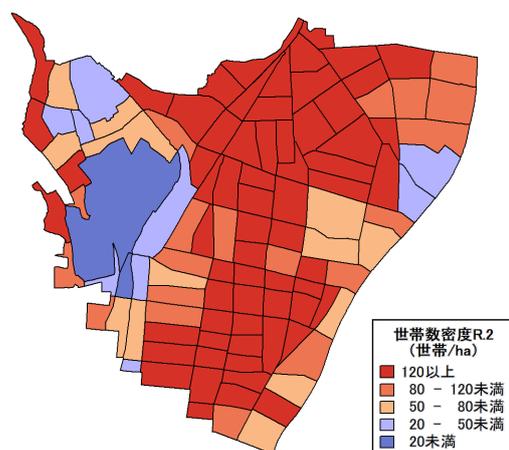


图1-8 世帯数密度 令和2年  
(資料：国勢調査 令和2年)

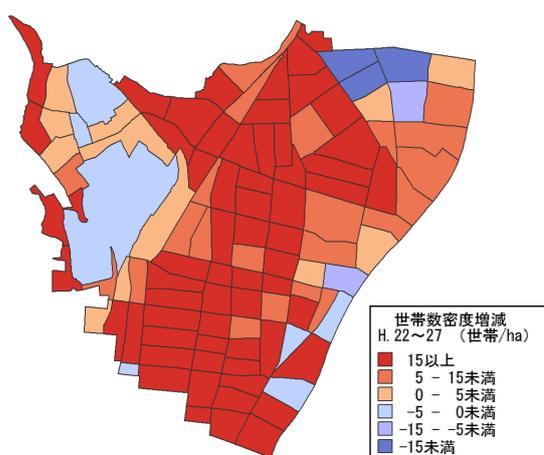


图1-9 世帯数密度増減 平成22～27年  
(資料：国勢調査 平成22・27年)

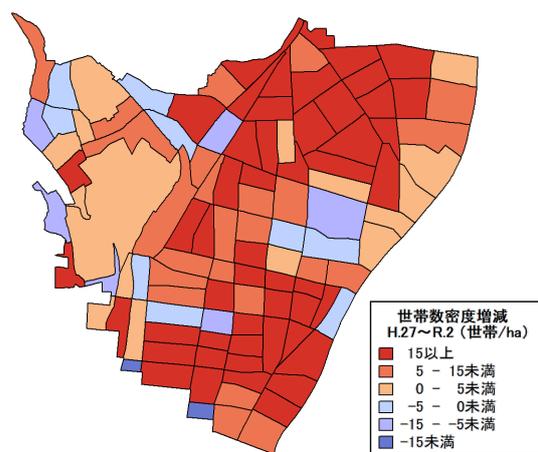


图1-10 世帯数密度増減 平成27～令和2年  
(資料：国勢調査 平成27・令和2年)

## 1-2. 年齢別人口

### (1) 老年人口密度(65才以上人口) \*3

令和2年の65才以上人口は47,510人で、平成22年から平成27年にかけて5,870人(14.4%)、平成27年から令和2年にかけて920人(2.0%)が増加している。また、区人口全体に対する構成比は、平成27年の23.5%から令和2年の22.5%に減少した。

町丁目別にみると、日本堤一丁目、清川二丁目、小島一丁目の老年人口密度が高くなっている。

増減をみると、平成22年から27年にかけては、西浅草三丁目、池之端二丁目、寿四丁目等、平成27年から令和2年にかけては、寿四丁目、池之端一丁目、橋場一丁目等で増加がみられる。

表1-3 老年人口密度(資料：国勢調査 平成22・27・令和2年)

	老年人口	増減率	構成比	老年人口密度 (人/ha)
平成22年	40,720	-	23.1%	40.39
平成27年	46,590	14.4%	23.5%	46.22
令和2年	47,510	2.0%	22.5%	47.14

表1-4 老年人口密度の高い町

(資料：国勢調査 令和2年)

	老年人口密度 (人/ha)
1 日本堤一丁目	145.08
2 清川二丁目	130.21
3 小島一丁目	107.19
4 松が谷四丁目	102.48
5 寿四丁目	98.20
区全域	47.14

\*3 指標の定義1.人口・世帯関連指標参照。

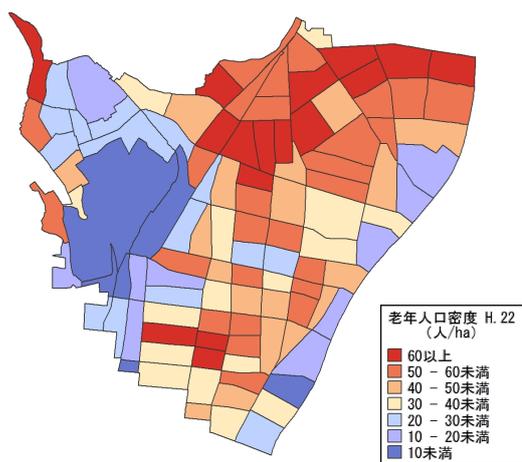


图1-11 老年人口密度 平成22年  
(資料：国勢調査 平成22年)

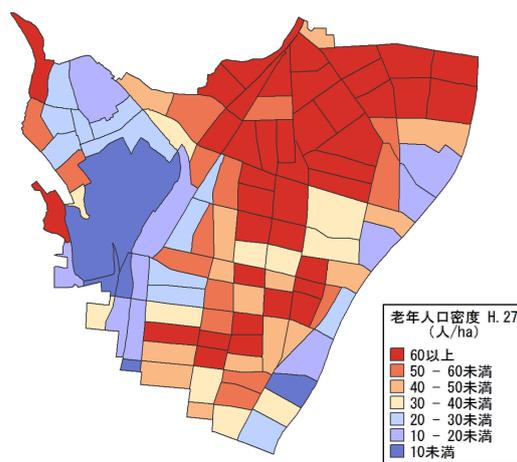


图1-12 老年人口密度 平成27年  
(資料：国勢調査 平成27年)

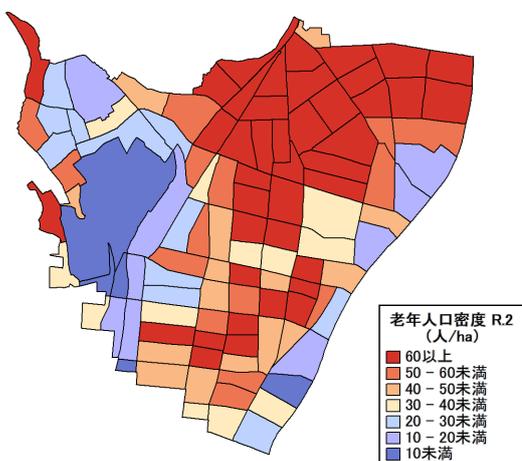


图1-13 老年人口密度 令和2年  
(資料：国勢調査 令和2年)

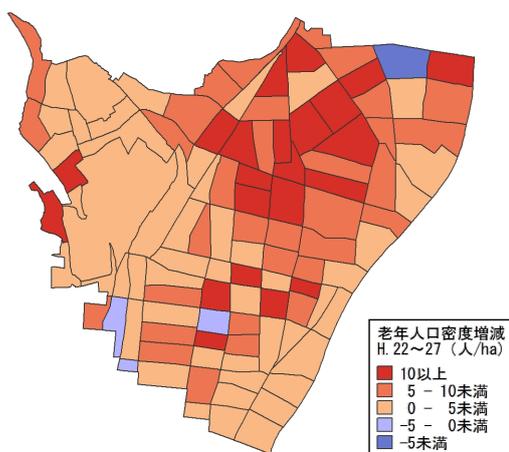


图1-14 世帯数密度増減 平成22~27年  
(資料：国勢調査 平成22・27年)

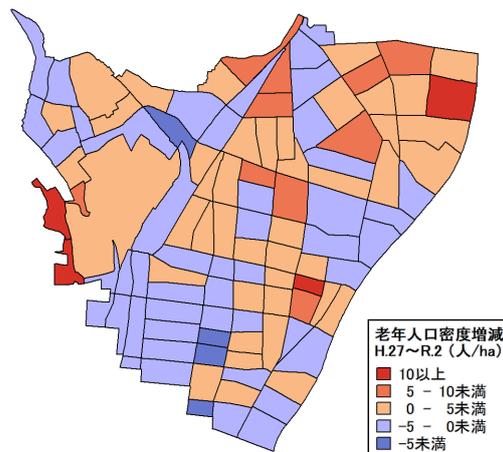


图1-15 老年人口密度増減 平成27~令和2年  
(資料：国勢調査 平成27・令和2年)

1. 人口等

(2) 年少人口密度(15才未満人口) \*4

令和2年の年少人口は18,648人で、平成22年から27年にかけて2,534人(16.8%)、平成27年から令和2年にかけては1,047人(5.9%)が増加している。また、区の人口全体に対する構成比で見ると、平成27年の8.9%から令和2年の8.8%に減少した。

町丁目別にみると、竜泉二丁目、根岸五丁目、西浅草三丁目の年少人口密度が高くなっている。

増減をみると、平成27年から令和2年では、平成22年から27年に比べ、減少に転じている地区が多い。

表1-5 年少人口密度(資料:国勢調査 平成22・27・令和2年)

	年少人口	増減率	構成比	年少人口密度 (人/ha)
平成22年	15,067	-	8.6%	14.95
平成27年	17,601	16.8%	8.9%	17.46
令和2年	18,648	5.9%	8.8%	18.50

表1-6 年少人口密度の高い町

(資料:国勢調査 令和2年)

	年少人口密度 (人/ha)
1 竜泉二丁目	50.00
2 根岸五丁目	49.54
3 西浅草三丁目	46.58
4 寿三丁目	44.51
5 三筋一丁目	42.39
区全域	18.50

\*4 指標の定義1.人口・世帯関連指標参照。

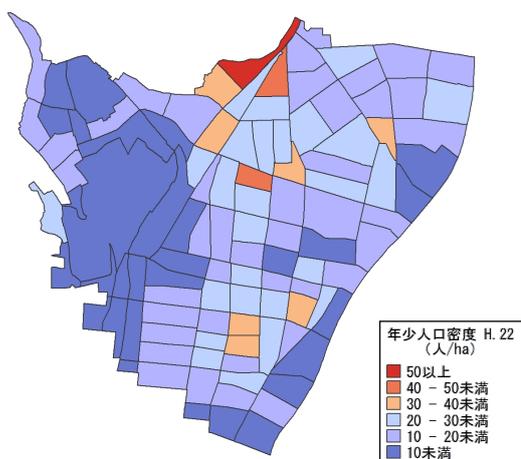


图1-16 年少人口密度 平成22年  
(資料：国勢調査 平成22年)

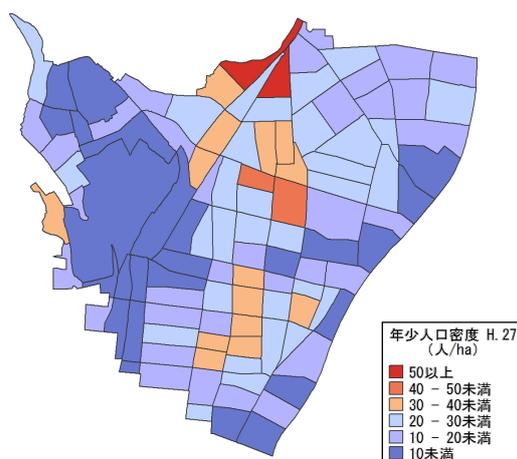


图1-17 年少人口密度 平成27年  
(資料：国勢調査 平成27年)

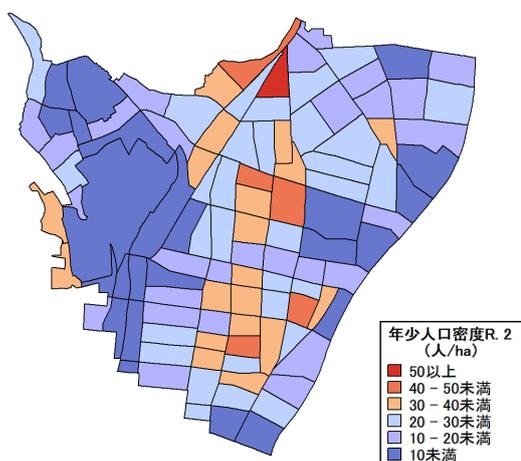


图1-18 年少人口密度 令和2年  
(資料：国勢調査 令和2年)

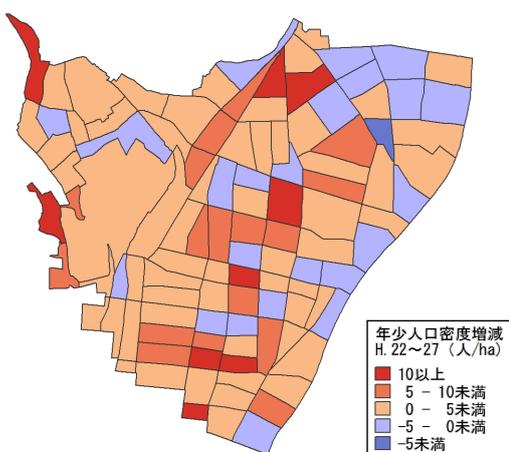


图1-19 年少人口密度増減 平成22～27年  
(資料：国勢調査 平成22・27年)

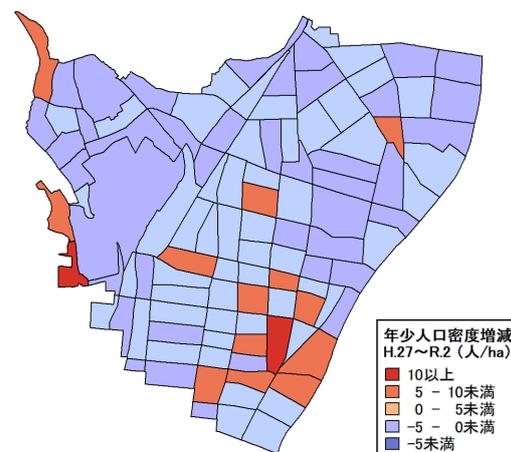


图1-20 年少人口密度増減 平成27～令和2年  
(資料：国勢調査 平成27・令和2年)

## 1-3. 昼間人口密度

### (1) 昼間人口

令和2年の昼間人口は307,169人で、平成22年から平成27年にかけて9,175人(3.1%)の増加から、平成27年から令和2年にかけては3,238人(1.1%)の増加となった。

町丁目別にみると、東上野二丁目、上野四丁目、上野一丁目の昼間人口密度<sup>\*5</sup>が高くなっている。

表1-7 昼間人口密度(資料:国勢調査 平成22・27・令和2年)

	昼間人口	増減率	昼間人口比	昼間人口密度 (人/ha)
平成22年	294,756	-	167.5%	292.39
平成27年	303,931	3.1%	153.4%	301.49
令和2年	307,169	1.1%	145.3%	304.79

表1-8 昼間人口密度の高い町

(資料:国勢調査 令和2年)

	昼間人口密度 (人/ha)
1 東上野二丁目	983.00
2 上野四丁目	953.00
3 上野一丁目	929.80
4 上野二丁目	821.80
5 駒形一丁目	773.49
区全域	304.79

<sup>\*5</sup> 指標の定義1.人口・世帯関連指標参照。

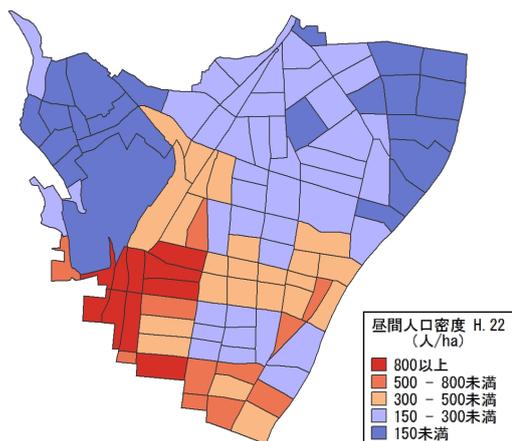


图1-21 昼間人口密度 平成22年  
(資料：国勢調査 平成22年)

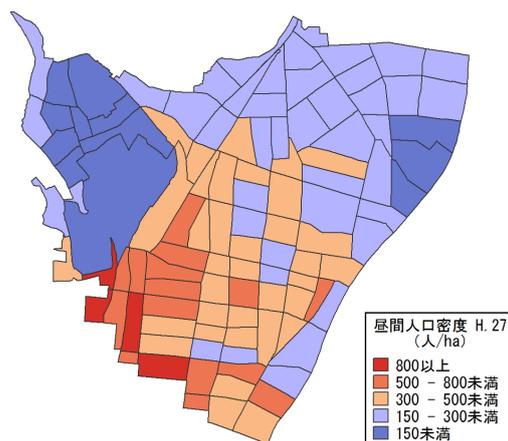


图1-22 昼間人口密度 平成27年  
(資料：国勢調査 平成27年)

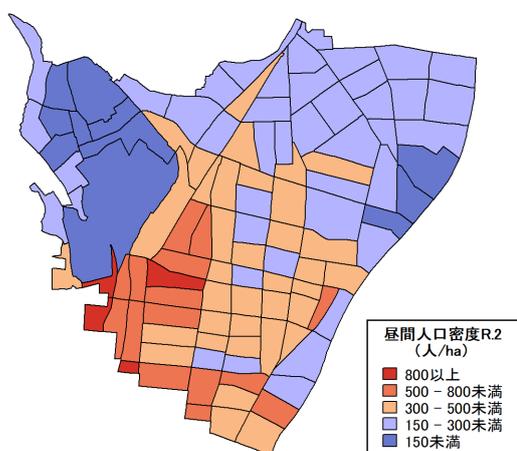


图1-23 昼間人口密度 令和2年  
(資料：国勢調査 令和2年)

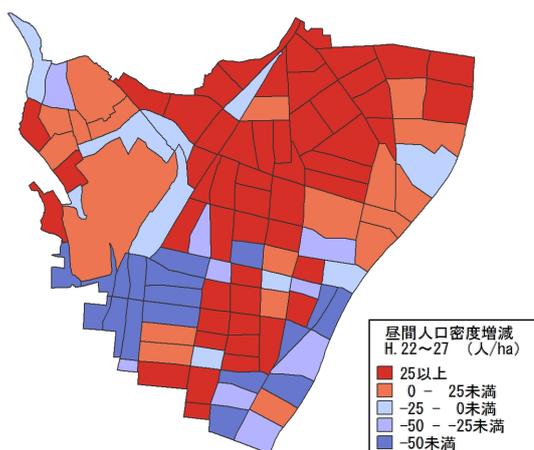


图1-24 昼間人口密度増減 平成22~27年(資料：国勢調査 平成22・27年)

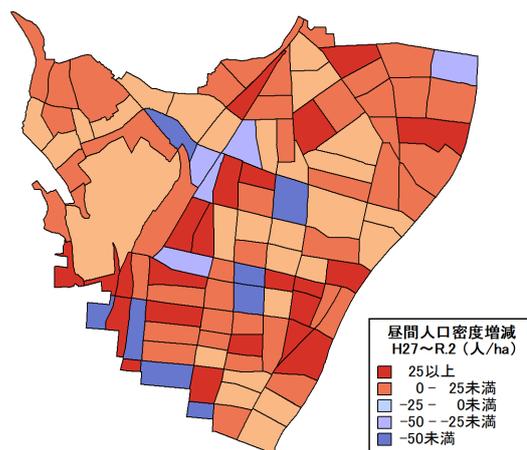


图1-25 昼間人口密度増減 平成27~令和2年  
(資料：国勢調査 平成27・令和2年)

1. 人口等

(2) 通勤・通学等の状況

自宅外就業者は令和2年現在、81,980人で、就業者全体の84.7%を占める。うち台東区内に21,232人(21.9%)、他区に49,621人(51.3%)、23区外に850人(0.9%)、他県に5,710人(5.9%)が就業している。

表1-9 通勤・通学等の状況(資料:国勢調査 令和2年)

地域	総数	自宅 就業	自宅外就業								
			計	23区内			23区外			その他 道府県	
				小計	台東区	他区	小計	市部	郡部		島部
就業者数 (人)	96,779	14,799	81,980	70,853	21,232	49,621	850	850	0	0	5,710
構成比 (%)	100.0%	15.3%	84.7%	73.2%	21.9%	51.3%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	5.9%

※令和2年国勢調査より自宅外就業計に不詳を含むため内訳の合計と必ずしも一致しない。

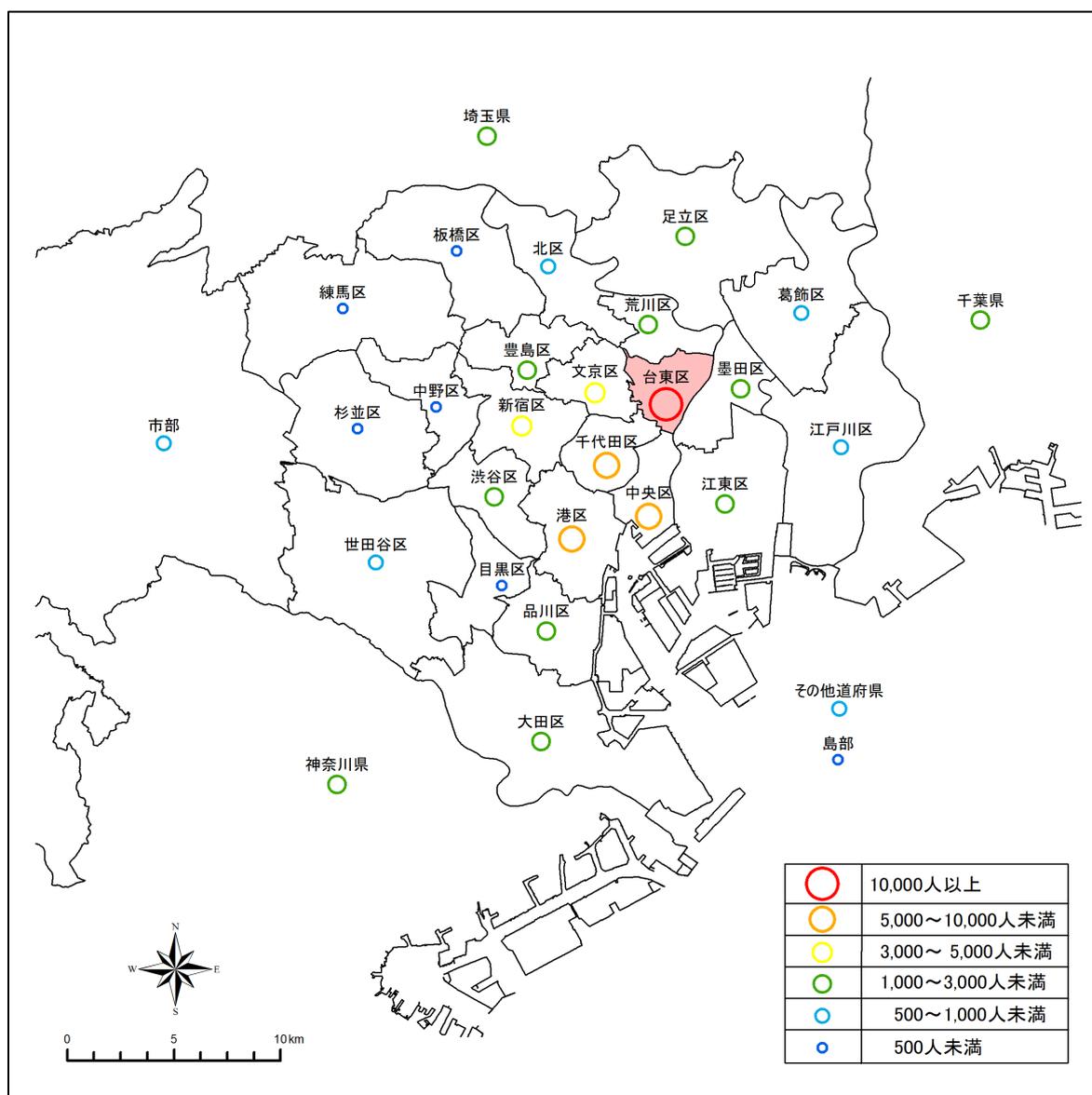


図1-26 通勤・通学等の状況(資料:国勢調査 令和2年)

※台東区民の通勤・通学先の状況を示す。